

SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 10 巻第 27 号

第 27 週 (7 月 5 日 ~ 7 月 11 日)

発行年月日:平成22年(2010年) 7月15日

発行 : 滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

ヘルパンギーナは警報発令 !!
手足口病は警報発令中 !!
腸管出血性大腸菌感染症は、昨年同時期より増加

一類～五類全数報告感染症の発生状況(第 27 週)

- ・一類感染症----報告はありません
- ・二類感染症----結核 3名
- ・三類感染症----腸管出血性大腸菌感染症 2名(HUS患者 1名、血清型: O157)
(無症状病原体保有者 1名、血清型・毒素型: O157・VT1VT2)
- ・四類感染症----報告はありません
- ・五類感染症----報告はありません

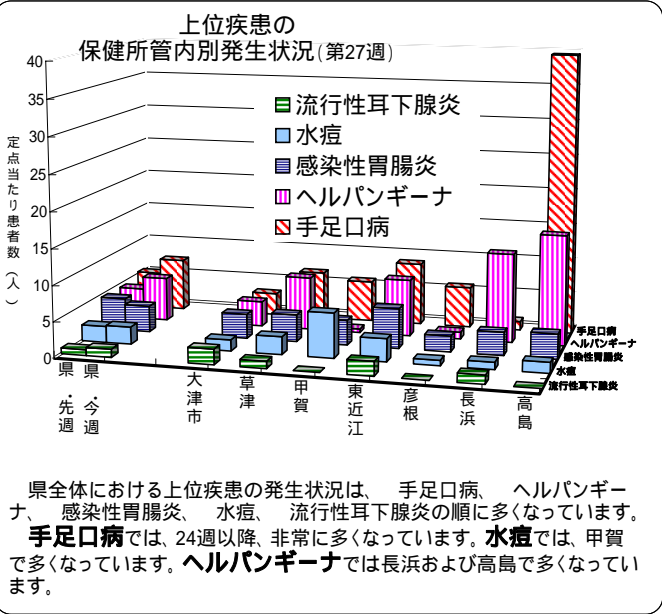
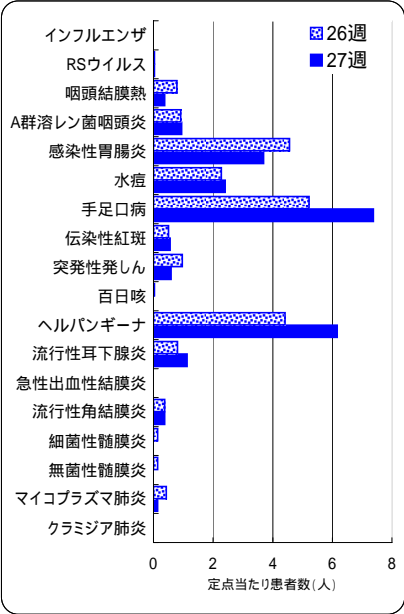
定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(664名)とほぼ横ばいで、今週は748名となっています。
今週増加した疾患および減少した疾患は、下記のグラフのとおりです(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

ヘルパンギーナについては、警報の発令基準^(*)により、県は7月9日に県内全域に警報を発令しました。

(*)「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」における、警報の開始基準値
(定点当たり患者数 6.00)を超える保健所(草津、長浜、高島保健所)管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、水痘では甲賀保健所管内で、手足口病では大津市および長浜以外の保健所管内で、伝染性紅斑では草津保健所管内で、ヘルパンギーナでは草津、東近江、長浜および高島保健所管内で警報発生基準値を超えています(詳細については、下記、滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況参照)。



県全体における上位疾患の発生状況は、手足口病、ヘルパンギーナ、感染性胃腸炎、水痘、流行性耳下腺炎の順に多くなっています。
手足口病では、24週以降、非常に多くなっています。水痘では、甲賀で多くなっています。ヘルパンギーナでは長浜および高島で多くなっています。

滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況
(平成22年第 27 週)

疾患名	県	保健所管内							警報開始 基準値	警報終息 基準値	注意報発 生基準値
		大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
水痘 定点当たり患者数(人)	2.41	1.57	2.50	6.25	3.20	0.75	1.00	1.50	7.00	4.00	4.00
手足口病 定点当たり患者数(人)	7.38	3.14	6.67	5.75	8.80	5.75	1.25	39.50	5.00	2.00	-
伝染性紅斑(リンゴ病) 定点当たり患者数(人)	0.56	0	2.17	0	0.80	0.25	0	0	2.00	1.00	-
ヘルパンギーナ 定点当たり患者数(人)	6.16	3.57	7.50	0.50	8.00	1.00	12.50	15.50	6.00	2.00	-

* 基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。また、注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。
★: 警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。 ☆: 注意報発生基準値を超えています。

1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感 染 症 類 型	疾 患 名	平成22年 累積報告数		平成21年 累積報告数 ^(※1)		平成20年 累積報告数	
		滋賀 ^(※2) (27週)	全 国 ^(※2) (26週 注)	滋賀	全 国 ^(※2)	滋賀	全 国 ^(※2)
一 類 感 染 症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	結核	129	12,079	256	26,932	282	28,419
三 類 感 染 症	コレラ	0	4	1	16	0	45
	細菌性赤痢	2	88	0	180	3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	9	1,138	27	3,886	53	4,322
	パラチフス	1	14	0	27	0	27
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	36	1	56	0	43
	A型肝炎	3	256	0	115	3	170
	オウム病	1	3	0	21	0	9
	コクシジオイデス症	0	0	0	2	1	2
	デング熱	0	62	0	93	2	104
	マラリア	0	30	0	56	1	56
	レジオネラ症	0	276	8	712	10	893
五 類 感 染 症	アメーバ赤痢	3	397	10	783	10	872
	ウイルス性肝炎	0	98	3	220	5	241
	急性脳炎	0	122	8	526	1	190
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	74	2	141	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	64	2	105	1	113
	後天性免疫不全症候群	1	715	9	1,449	11	1,568
	ジアルジア症	0	42	0	73	1	75
	梅毒	4	287	3	692	5	839
	破傷風	0	50	3	113	5	123
	風しん	5	53	2	148	2	309
	麻しん	1	277	7	739	39	11,015
新型インフルエンザ 等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(※3)	0	0	138	12,639	- ^(※4)	- ^(※4)

注：27週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報（SIDR）に掲載します。

- *1: 感染症発生動向調査年報暫定数（国立感染症研究所感染症情報センター、平成22年3月）。
- *2: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています（国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照）。
- *3: 感染症法の一部改正（平成21年7月24日施行）により届出の対象となった報告数です（届出期間：平成21年7月24日～8月24日）
- *4: 感染症法の一部改正以前のため、集計は行っていません。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関（定点）といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです（患者報告数＝定点当たり患者数×定点数）。

(1) 疾病別・週別発生状況（平成22年第22～27週、5/31～7/11）

定点区分	定 点 数	疾 患 名	定点当たり患者数（ 前週より増加 前週と同じ 前週より減少）											
			22週	23週	24週	25週	26週	27週	週					
			5/31～	6/7～	6/14～	6/21～	6/28～	7/5～	23	24	25	26	27	
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0	0.06	0.04	0	0	0						
小児科	32	RSウイルス感染症	0.03	0.06	0	0.03	0.03	0.03						
		咽頭結膜熱(プール熱)	0.75	0.38	0.63	0.44	0.78	0.38						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.66	1.13	0.81	0.91	0.94						
		感染性胃腸炎	5.53	7.09	6.91	5.50	4.56	3.69						
		水痘	1.81	3.41	2.06	3.25	2.28	2.41						
		手足口病	2.06	2.06	2.69	4.97	5.22	7.38						
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.25	0.56	0.78	0.50	0.50	0.56						
		突発性発しん	0.28	0.28	0.69	0.91	0.97	0.59						
		百日咳	0.09	0.03	0.03	0.03	0.03	0						
		ヘルパンギーナ	1.38	1.44	1.59	2.63	4.41	6.16						
		流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.38	0.84	0.97	1.34	0.81	1.13						
眼科	8	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
		流行性角結膜炎	0.13	0.38	0.13	0	0.38	0.38						
基幹	7	細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0.14	0.14	0						
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.14	0						
		マイコプラズマ肺炎	0.57	0.29	0.14	0.29	0.43	0.14						
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0.14	0	0	0	0						

各疾患における6週間の発生状況

増加傾向・・・伝染性紅斑、突発性発しん、手足口病、ヘルパンギーナ
減少傾向・・・感染性胃腸炎

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況（第27週、7/5～7/11）

疾 患 名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)			
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島				
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0				
RSウイルス感染症	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50				
咽頭結膜熱(プール熱)	0.38	1.14	0.50	0	0.20	0	0	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.94	0.57	1.67	0.50	2.00	0.50	0.50	0				
感染性胃腸炎	3.69	3.43	3.83	3.50	5.60	2.25	3.25	3.50				
水痘	2.41	1.57	2.50	6.25	3.20	0.75	1.00	1.50				
手足口病	7.38	3.14	6.67	5.75	8.80	5.75	1.25	39.50				
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.56	0	2.17	0	0.80	0.25	0	0				
突発性発しん	0.59	0.14	2.50	0	0.60	0	0	0				
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0				
ヘルパンギーナ	6.16	3.57	7.50	0.50	8.00	1.00	12.50	15.50				
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.13	2.14	1.00	0	2.00	0	1.25	0				
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
流行性角結膜炎	0.38	1.00	0	0	0	1.00	0	0				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0				
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0				

赤・太字

は警報発生基準値を超えています。

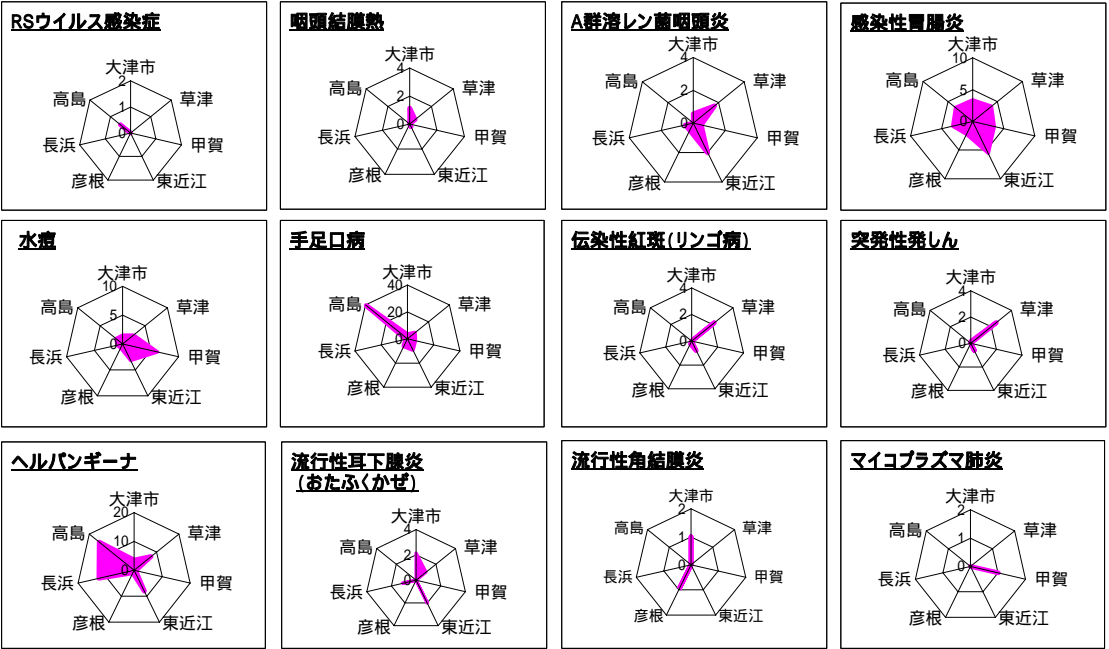
青緑・太字

は注意報発生基準値を超えています。

0 2 4 6 8

定点当たり患者数

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)

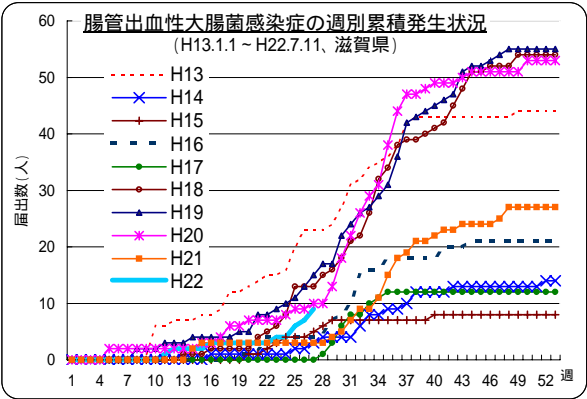


(3) 今週の発生状況

水痘-----甲賀保健所管内では先週よりさらに増加し、警報終息基準値(4.00)を超えています。

手足口病-----長浜保健所管内以外で、先週より増加し、県全体ではかなり増加しています。特に、高島保健所管内の定点当たり患者数は39.50となり、非常に多くなっています。

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況(平成13年～平成22年、滋賀県)



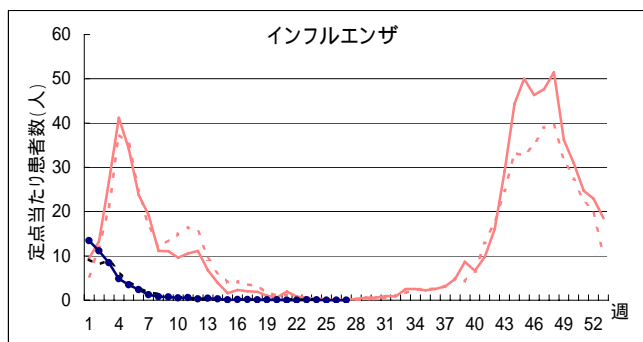
平成22年7月11日現在における届出数 9名の
内訳は、男性 3名、女性 6名、診断の類型は患者 6名、無症状病原体保有者 3名です。

血清型・毒素型は
O157・VT1 & VT2 4名
O157・VT2 3名
O157・不明 1名(HUS)
O91・VT1 1名

年齢は
0～9歳 5名、20～29歳 2名、40～49歳 1名、
70歳以上 1名です。

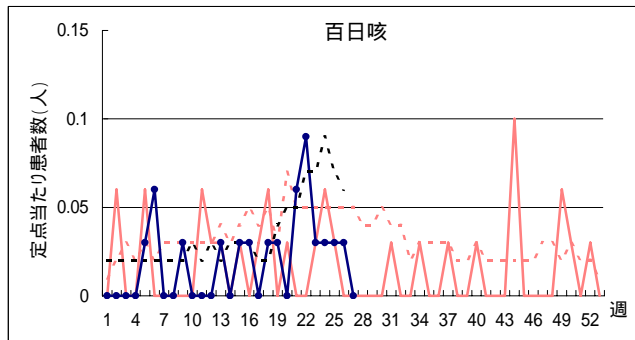
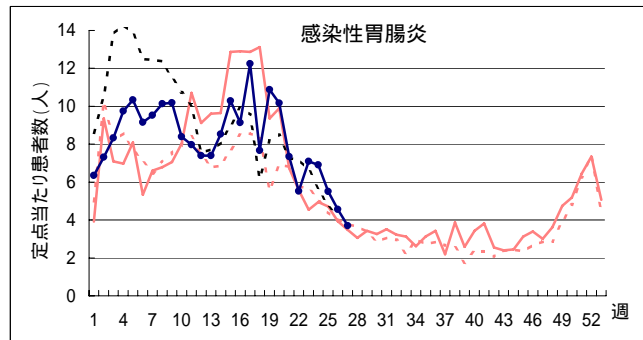
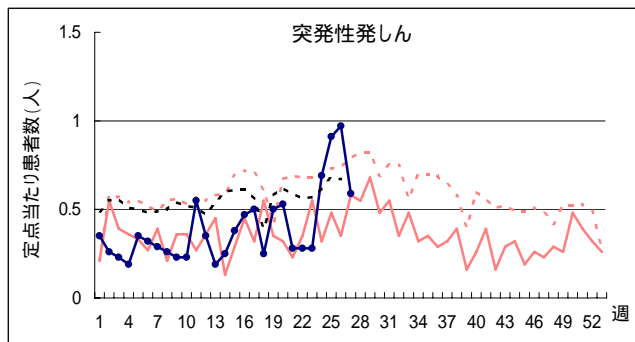
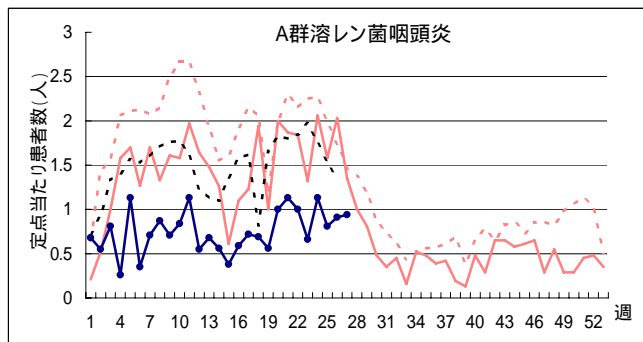
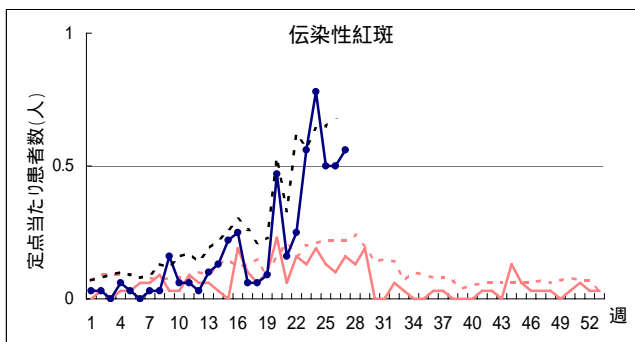
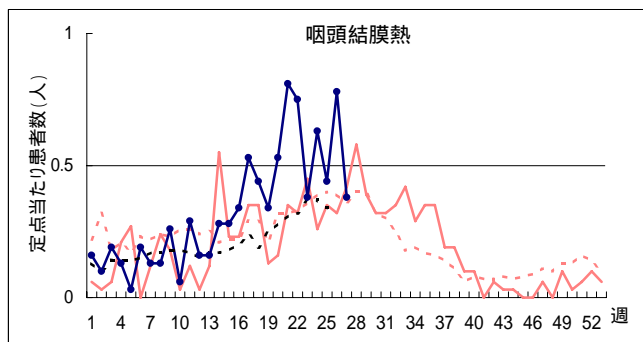
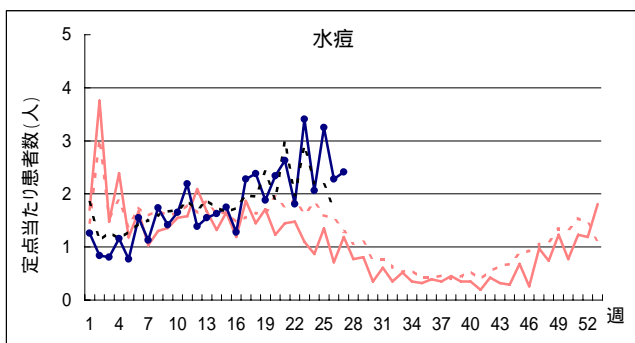
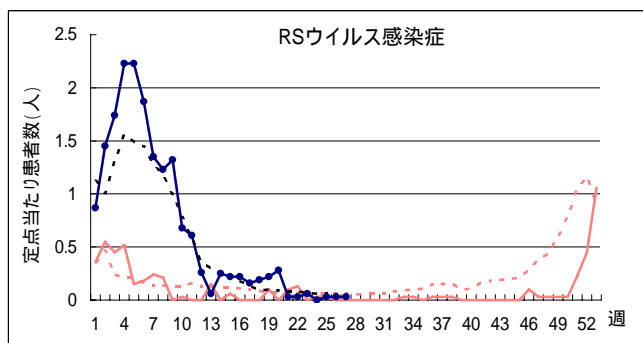
届出保健所は
大津市 4名、草津 3名、甲賀 0名、東近江 1
名、彦根 1名、長浜 0名、高島 0名です。

疾病別定点当たり患者数(平成22年第 1 ~ 27 週、H22.1.4 ~ H22.7.11)

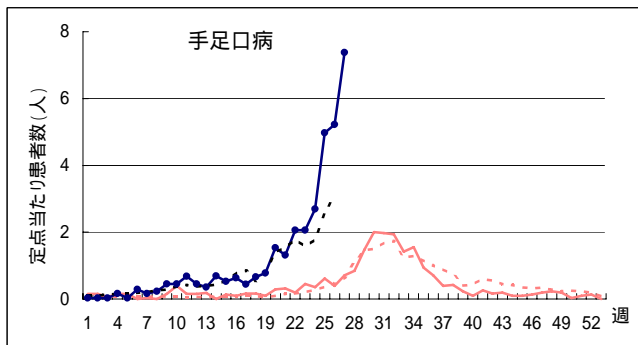


H21 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)

H22 { 滋賀 (solid blue line with dots)
全国 (dotted blue line)



疾病別定点当たり患者数(平成22年第 1 ~ 27 週、H22.1.4 ~ H22.7.11)



H21 { 滋賀 ————
 全国
 H22 { 滋賀 —●—●—
 全国
 週

